

## 子育てコラム

有名な童話「みにくいアヒルの子」はアンデルセンが「カモ」からヒントを得て書きました。みにくいがゆえに誰からも相手にされず、いじめられて苦勞したアヒルが最後には美しい白鳥になるというお話です。

「みにくいアヒルの子だった頃は、ぼくにこんな大きな幸福がさずかるとは思わなかったのに」と話す白鳥、この物語はアンデルセンの一生に良く似ているといわれています。

今では、知らない人がないアンデルセン童話、彼の貧しい生い立ちを知っている人はあまりいません。

この冬も赤や青、ゴールドなど、光の競演が街を彩っています。そして、この不安な時期、光の中で思い出すのは、やはり名作「マッチ売りの少女」です。貧しかったアンデルセンの母親の話をもとに書かれたといわれています。

それはともかく、アンデルセンに大きな夢を与えた白鳥とはどんな鳥なのでしょうか。

### 12月 おおはくちょう

詞 /五十野惇

- ♪ そらを とぶ おおはくちょう  
とんで とんで きれいだね  
おとうさん おかあさん そして  
はいいろの こどもたち
- ♪ むれを なす おおはくちょう  
かぞく いっしょ なかよしだ  
おとうさん おかあさん そして  
はいいろの こどもたち
- ♪ こー と なく おおはくちょう  
ここは ぼくらの じんち  
おとうさん おかあさん そして  
はいいろの こどもたち



## 学生のプログコメントから

家族の仲の良さがすごく伝わってきます。大きな夢って、私は家族にあると思います。そして白鳥は子供のときは灰色だったんですね。知らなかったわ…。実物は見たことがないけれど、きれいですね。ぜひ、子どもたちに見てほしいです。

このお話を読む前に、子どもたちに、「みんなはおおはくちょうがどんな鳥なのか知ってる？何色をしているのかなあ？」と質問します。きっと、子どもたちからは、「はくちょうだから、白！」という答えが返ってくるだろうと思います。その後で、「そうだね。でも実は、おおはくちょうは小さいときは、違う色をしているんだよ。」と話してからこのお話を読むと、子どもたちは、何も話さずにいきなり読むよりも、興味を持って聴いてくれると思います。また、1番、2番、3番それぞれに合った絵を添えて読んであげると、子どもたちはより理解しやすいと思います。

そして、子どもたちを、白いお父さん、お母さんと、灰色の子どもに分け、3人で1組の「家族」をつくり、その3人でずっと手をつないだまま、おにごっこやどろけいなどをやりたいです。普通のおにごっこやどろけいとは違い、いわゆるチーム戦であるため、子どもたちは、協力し合うことの大切さを楽しみながら学ぶことができると思います。

真っ白い白鳥が空を飛んで その姿は、とてもきれいです。この詩は、家族のことを書いてあって家族の大切さを感じさせられます。これは、子供たちに聞かせたいと思いました。

12月 たんちょうづる 詞 /五十野惇

- ① くるるる くるるる たんちょうづる なくよ  
からだは しろと くろ  
あたまの てっぺんは あか  
くるるる たのしいね
- ② ひゅるる ひゅるる きたかぜ ふくよ  
ぬまの おくに すを つくり  
たまごを ふたつ うむ よ  
ひゅるる たのしいね



### 学生のブログコメントから

くるるるやひゅるるるみたいな音を何度も使っていて子供たちもきっと覚えやすいと思いました。

北風に似た感じのなき方とても面白い。そして鶴の鳴き方はじめて聞きました。小さい子と折り紙をしながらなき方もまねしたりするのが楽しそうだと思います。

くるるる そして ひゅるるる と、その情景が思い浮かび、小さい子にも伝わる詩だなと思いました。鳥の特徴を捉えている歌だと思います。

この歌もすごくたんちょうづるの特徴を捉えていると思いました。また、生態とかも歌のなかでわかるようになっていたので子供たちにはとてもいい歌だと思います。なので手でたんちょうづるのくちばしを表しながら歌うといいんじゃないかなと思いました。

くるるる ひゅるる というフレーズがとても可愛いと思いました！

くるるる ひゅるる という鳴き方がとてもかわいくて、みんなで鳥のまねをして鳴きま

ねをして遊ぶと楽しいと思います。「くるるる　くるるる」のところはみんなで一緒に回って歌います。最後の「くるるる」も回ったら子どもたちは元気に楽しんでやってくれると思いました。



12月　**まがも**　　　　詞 /五十野惇

- ①　　おすの　まがもは　あたまが　みどりいろ  
　　　くびに　しろい　わが　ある  
　　　げー　げー　げー　なくよ
- ②　　めすの　まがもは　ちゃいろ  
　　　げー　げー　げー　なくよ
- ③　　おすと　めす　いつも　いっしょ

### 学生のプログコメントから

始めにこの歌を子どもたちに歌ってあげてから、子供たちに「おすのまがもの頭は何色かな？」とか、問題をだしたらおもしろいんじゃないかと思いました。そして、「マガモはどんな風になくのか？」と質問して、みんなでマガモのまねをして「げーげーげー」ってやったら子どもたちも楽しんでやってくれるんじゃないかと思いました。

こどもたちがペアになる遊びを、この歌でしてみたいと思いました。　男の子は緑色の帽子をかぶって、女の子は茶色の帽子をかぶって、この歌を歌いながら、歌い終わるまでに緑色と茶色の帽子をかぶった子のペアを作る遊びです。

オスは緑色、メスは茶色。鳥ってオスの方が綺麗なんですね。まがもの特徴がわかりやすく書かれていて、実際にまがもを見ながら子どもに教えてあげると良いと思います。

性別で頭のいろが違うなんて、初めて知りました！！

おすとめすはいつも一緒なんてなんかかわいいですね^^

おすにしか首に白い輪はないのかなあ？と、ふと思いました。

一番は男の子が歌って、二番は女の子が歌ったらいいと思います。 げー げー げーのところは手をくちばしに見立てたりしながら歌ったら楽しいと思いました。

私が小さいころ、マガモをテレビで見て、オスはあんなにきれいなのに、メスは茶色一色でびっくりしたのを覚えています。マガモだったら、意外と近くに姿を現すことが多いので、土手にお散歩に行ったときなどに歌ったら、実際に見たときの感動がより一層大きいと思います。また一緒にげーげーと鳴いたら、子供たちも楽しむと思います。

## 12月 ゆりかもめ

詞 /五十野惇

- ① くちばしと あしが オレンジいろ  
しろい しろい かもめ  
ゆりかもめ  
しんだ さかなを たべる よ  
「おい」  
かわの おそうじやさん
- ② はる きたの くくに かえるころ  
あたまが くろく なるよ  
ゆりかもめ  
みやこどり と ひと は いう  
「おい」  
ぴー ぴー ないて さわぐ



## 学生のプログコメントから

この歌は、わかりやすくゆりかもめがどんな生き物かわかりやすいですね。死んだ魚だけを食べるんですね。てっきり、生きている魚を食べていると思っていました。そう思うと、掃除屋さんですね。

歌詞がとてもわかりやすくゆりかもめについて書かれているのですごい勉強になります。  
『おい』のところをみんなでいいたいとおもいました

ゆりかもめ、というところを言わないで、クイズのようにして楽しむことができるのではないかと思いました。

12月 あひる 詞 /五十野惇

- (1) あひるは があ があ があ  
ちいさい シャベルで があ があ があ
- (2) あひるは よち よち よち  
おもたい スリッパで よち よち よち

## 子育てコラム

河原や池に行ってみませんか。オナガガモ、マガモ、キンクロハジロ、…。秋から冬にかけて北のくから日本にやってくる渡り鳥で賑わっていますね。

毎年のように見かける光景ですが、どうもいまいち渡り鳥の名前が覚えられないと聞きます。名前を覚えると、渡り鳥に親しみがわくし、楽しいおしゃべりも弾むし、いいことづくめ。ほんと、すばやく名前や言葉を覚える人はうらやましいですね。

名前や言葉といえば大半の試験問題は名前や言葉がベースになっていますから、名前や言葉をすばやく覚えられたら「いいな～」と誰でも思いますね。

では、どうしたら名前や言葉をすばやく覚え、覚えた名前や言葉をすばやく活用できるようになれるでしょうか。よく視力・聴力・嗅覚・味覚・触覚の五感を研ぎ澄まして覚えるようにすると聞きますけど、試験前ならいざ知らず、なにげない普段の日でしたら無理でしょう。でも、お散歩ガイドやカーナビのように、そばにメモやガイドがあれば記憶も違うかもしれません。ほんと、ちょっとした心がけなのですね。

で、今回は、渡り鳥の名前やようすを書いたガイドを二つ携えて近くの河原や池に行ってみませんか。もちろん、遊び半分ですが…。



## 12月 おなががも

詞 / 五十野惇

- ①      ぐあっ   ぐあっ   おなががも  
         ながい   しっぽを   ふり   ふり   ふり   ふり  
         ふり   ん
- ②      ぐあっ   ぐあっ   あたま   ちゃいろで   さ  
         しろい   とっくりと   はいいろの   カーディガン  
         きて   さ
- ③      ぐあっ   ぐあっ   おなががもの   おす  
         めだつ   いろ
- ④      ぐあっ   ぐあっ   おなががもの   めす  
         めだた   ない

### 学生のブログコメントから

私はおなががもというカモがいることを初めて知りました！でもこの詩を読んで、おなががもがどういう見た目のカモなのか分かりました。このように詩などで、見たことのない動物でもこういった特徴の動物なのか伝えられることが出来て良いですね！

「ぐあっぐあっ」のところは、子ども達みんなで手を後ろに伸ばしてひざを曲げてカモのポーズをしながら大声で言ったら、ますます楽しいと思います。

また動物はクジャクなどメスとオスで見た目が少し違うものもいっぱいいるので、そういう動物の写真を見せて、「どちらがオスでしょう」などクイズにするのも良いなあと思いました！おなががもの特徴がたくさん詰まったかわいい詩だと感じました！

私はおなががもと言うかもがいることを初めて知りました。この唄でどういう色・形かはわかりました。私はかもや孔雀のような鳥類のオスはとっても派手なのかと思いましたが、このおなががものオスはめだつかのしれませんが、そういう鳥に比べて全然派手じゃない



と思いました。

この唄はとてもリズムがとりやすいと思います。やっぱり音がとりやすいのは「ぐあっ　ぐあっ」のような一定のリズムがあるからだと思います。私も何か機会があったら、このおながもをみてみたいです。

「ぐあっ　ぐあっ」の部分をかもになりきってみんなで声を出してやり、「しっぽをふりふり・・・」の「ふりふり」の部分では、みんなでおしりを振ってやったらとてもかわいらしくなると思いました。

## 12月 きんくろはじろ

詞 /五十野惇

- ①　あの　かお　みて  
　　きんくろはじろ　あははは　は
- ②　もぐった　もぐった  
　　きんくろはじろ　あははは　は
- ③　さかなを　くちに　くわえて  
　　きんくろはじろ　あははは　は



## 12月 わたりどり　　詞 /五十野惇

- ★　ふゆどりです　と　いうのに  
　　サインは　「な　つ　は　か　ま」  
　　へんてこりんだな

なーくんは　なべづる  
つーくんは　つぐみ  
はーくんは　はくちょう  
かーくんは　かもめ  
まーくんは　まがも

あきから　ふゆにかけて　きたの　くから　にほんに　やってくる　わたりどり



12月 まつの き

詞 /五十野惇

- ① まつの きの  
きの かわは きっこうけい  
かめさんの こうらに にてる
- ② まつの きの  
きの はっぱは はり  
ぬいばりの はりに にてる
- ③ はなは はる さいて  
いつのまにか ぼうに なる  
ぼうは  
いつのまにか まつかさに なる  
どん おちる



### 学生のプログコメントから

成長段階でいろんな形に変化する松の木。模造紙にこの歌を書いて「まつぼっくり」や「まつかさ」の絵も書きます。そして本物のまつぼっくりなどを使ってみんなでおもちゃを作って松の木を知ってくれればいいと思いました。

この唄の言葉は子どもには難しいとおもいます。私でも『きっこうけい』と言う言葉で一回つかえてしまいました。あと『まつかさ』と言う言葉も同様に難しいと思いました。でも、この唄は、かめのこうらやぬいばりなど、色々なものを連想させて良い歌だと思いました。

小さい頃にまつぼっくりをあつめてあそんでいたりよくしていました。クリスマスの時期になるとまつぼっくりにビーズを乗せてクリスマスツリーを作ったりもしていました。葉っぱをぬいばりにたとえていておもしろいと思いました。

まつのきの特徴を別のものに例えて歌っているのでとても覚えやすいと思いました。歩いていて「これまつのきだ!」とみつけやすいですね。